

蕨市立南小学校

機織り体験



第3学年

特色

- 江戸時代の終わりから蕨で盛んであった綿織物「双子織（ふたこおり）」を学ぶために、3年生児童が機織り体験を行う。蕨市の機織りの歴史について講話を聴くとともに、機織りの仕組みや、織られた布地を実際に手にすることで、昔の人々が着物等をつくるまでの苦労を体験的に理解する取組。

児童の感想

- 実際に機織り機を使って織る事ができて楽しかったです。ぼくは4回しかやっていないのにつかれたので、機織りは大変なんだということが分かった。
- みんなで協力して、さき糸のたばをたくさんつくるのが一番楽しかったです。機織り機はふくざつなこうぞうでつくられているなと思いました。日本はこうやって着物を作っていたのだと思った。

成果

- 初めての機織り体験で、普段できない経験をし、児童は楽しく活動することができた。今回の体験を通して、機織り機の仕組みや、自分たちの住む蕨に、長い間受け継がれている機織りをしている人の想いを学ぶことができた。また、実際にやってみることで、その大変さや昔の人の努力も体験的に理解することができた。